

# 【広島市消費者物価指数】

## 1 平成 25 年 4 月の動向

- 広島市総合指数（99.3）は 2 か月連続上昇。前年同月比は 11 か月連続の下落。
- 生鮮食品を除く総合指数（99.5）は前月比で 3 か月連続の上昇。前年同月比は 12 か月連続の下落。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（98.3）は前月比で 3 か月連続の上昇。前年同月比は 20 か月連続の下落。

## 2 総合指数、生鮮食品を除く総合指数、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	99.3	0.3	▲1.2
生鮮食品を除く総合指数	99.5	0.3	▲0.9
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	98.3	0.4	▲1.4

## 3 前月からの動き

～被服及び履物は上昇、住居は下落。～

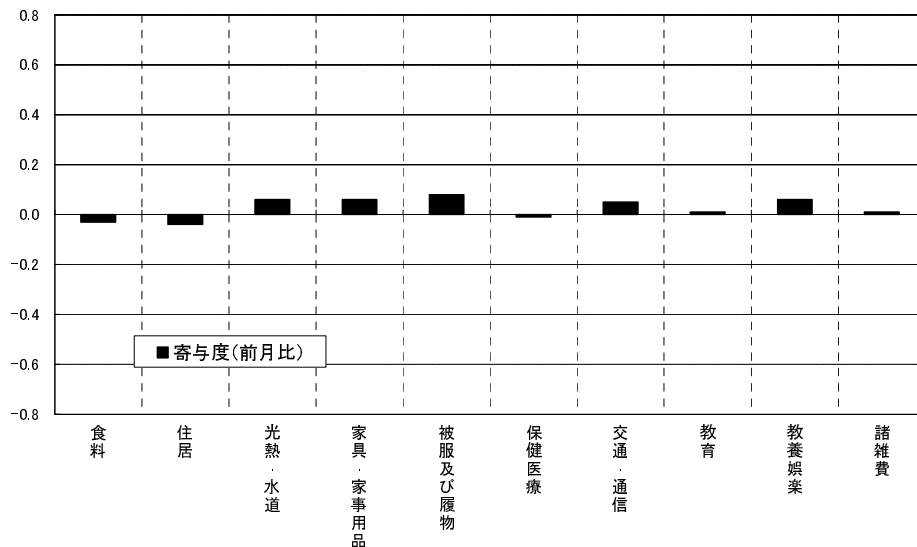
### (1) 10 大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	99.3	98.9	98.9	106.3	93.7	101.4	98.3	102.0	98.8	92.5	104.0
前月比 (%)	0.3	▲ 0.1	▲ 0.2	0.7	1.7	1.7	▲ 0.1	0.4	0.4	0.5	0.2
寄与度	0.3	▲ 0.03	▲ 0.04	0.06	0.06	0.08	▲ 0.01	0.05	0.01	0.06	0.01

(参考) 主な要因となっている 10 大費目について、寄与の大きかった中分類項目

被服及び履物：シャツ・セーター類（前月比 10.1%、寄与度 0.10）等  
住 居：家 賃（前月比 ▲0.3%、寄与度 ▲0.04）等

図 1 10 大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に、各費目がどれだけ影響したかを示したもの。本来、寄与度の合計は、総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
項 目 (主な品目名)	前月比	項 目 (主な品目名)	前月比
シャツ・セーター類 (婦人Tシャツ[半袖] 等)	10.1%	果物 (みかん 等)	▲10.5%
自動車等関係費 (自動車保険料[任意] 等)	1.0%	家賃 (民営家賃 等)	▲0.3%
家庭耐久財 (ルームエアコン 等)	5.6%	教養娯楽用品 (ゴルフクラブ 等)	▲0.9%
教養娯楽サービス (海外パック旅行 等)	1.0%	洋服 (男児ズボン 等)	▲1.3%
魚介類 (たい 等)	2.4%	交通 (航空運賃 等)	▲0.6%

4 前年同月からの動き

～光熱・水道は上昇, 食料及び教養娯楽は下落。～

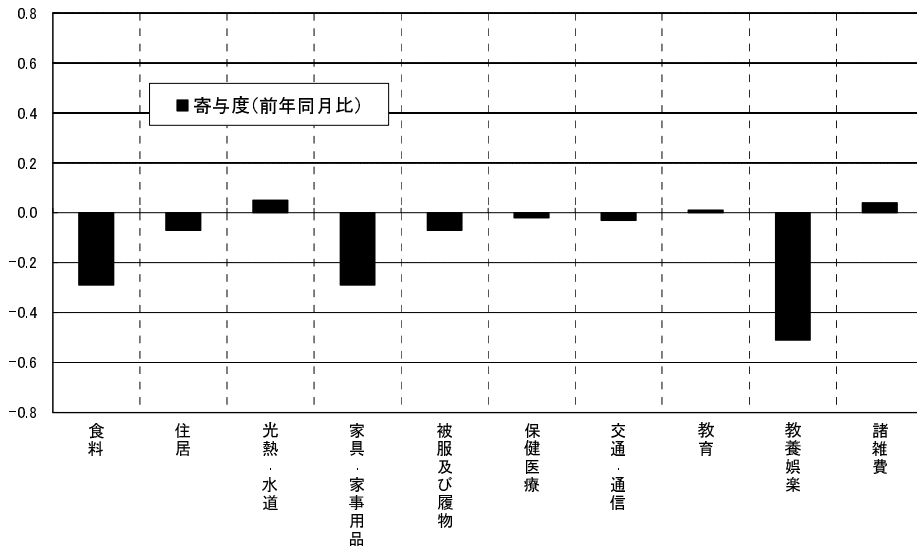
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	▲1.2	▲1.1	▲0.4	0.6	▲7.2	▲1.5	▲0.5	▲0.2	0.4	▲4.6	0.6
寄与度	▲1.2	▲0.29	▲0.07	0.05	▲0.29	▲0.07	▲0.02	▲0.03	0.01	▲0.51	0.04

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

光熱・水道：他の光熱 (前年同月比 5.1%, 寄与度 0.02) 等  
 食料：野菜・海藻 (前年同月比 ▲9.8%, 寄与度 ▲0.28) 等  
 教養娯楽：教養娯楽用耐久財 (前年同月比 ▲13.3%, 寄与度 ▲0.24) 等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
費 目 (主な品目名)	前年同月比	費 目 (主な品目名)	前年同月比
自動車等関係費 (自動車保険料[任意] 等)	1.1%	野菜・海藻 (ねぎ 等)	▲9.8%
肉類 (牛肉 [国産品] 等)	3.0%	教養娯楽用耐久財 (テレビ 等)	▲13.3%
身の回り用品 (ハンドバッグ[輸入品] 等)	7.2%	家庭用耐久財 (電気冷蔵庫 等)	▲12.2%
魚介類 (えび 等)	1.6%	教養娯楽用品 (トレーニングパンツ 等)	▲7.3%
外食 (ビール[外食] 等)	0.5%	教養娯楽サービス (インターネット接続料 等)	▲2.1%